

国指定重要無形民俗文化財

いわくにゆ かば かんまい
〔岩国行波の神舞〕

【どんなお祭りなの？】

— 古い祭礼舞踊の継受 —

江戸時代から岩国市行波に伝わる国の重要無形民俗文化財。足掛け7年毎に行われる式年祭では、地元の錦川河川敷に神殿と呼ばれる大掛かりな舞場を設え、15 時間以上かけて 12 の舞を奉納する。

著名な民俗学者の故・宮本常一氏は、「古い祭礼舞踊が、伝承せられた当時のまま、ほとんど改変せられることなく、今日にいたっていることが大きな特色だ」と述べている。



【お祭りの見どころを教えて！】

— 大木と地上をつなぐ大縄！命がけの神事 —

終盤の「八関」に合わせて行われる「松登り」は、高さ約 25m の巨大な松が舞台となる。白装束の「荒神」が松を登り、木の上に祀られた「三光」を燃やし、縄を伝って頭から降りていく。五穀豊穡、民安穩、厄疫退散を祈願するもので、緊張感のある式年祭最大の見せ場である。【表紙参照】



☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
式年祭 前夜祭	2019年 4月6日 17:00~22:00	山口県岩国市行波	岩国市文化財保護課 0827-28-5353
本祭	4月7日 6:30~23:40		

山口県指定無形民俗文化財

く か
[久賀なむでん踊り]

【どんなお祭りなの？】

約 230 年前に始められたと言われている虫送りの行事です。

江戸時代には豊作を祈願する年中行事として奨励されており、その年の米の豊作を願い奉納されていました。

昭和 49 年に山口県指定無形文化財に指定されました。



【お祭りの見どころを教えて！】

過疎化の影響により平成 18 年を最後に、町内を巡回する奉納踊りは中断していましたが、平成 27 年に復活しました。

久屋寺で入魂式が行われ、久賀地区数カ所で巡回奉納を行っています。

なむでん踊りとは、デコと呼ばれる人形に害虫や疫病などを集めて回り、それらを供養して海に流します。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
久賀なむでん踊り	7 月上旬	山口県大島郡周防大島町久賀 久屋寺を出発し、久賀地区を 練り歩きます。	周防大島町教育委員会 社会教育課 0820-78-2205

国指定重要無形民俗文化財

あ つ き し ん め い さ い
[阿 月 神 明 祭]

【どんなお祭りなの？】

阿月神明祭は、阿月東西の両岸で、毎年小正月（旧正月 14 日・15 日）-但し現在は 2 月 11 日-に勇壮な火祭りが行われる。正保元年（1644）に浦就昌が、阿月の領主として移封とともに伝えたという。神明祭は左義長という宮中の行事に似た「とんど」という小正月の民間行事で、年頭にその年の収穫の豊かなことを願う予祝的行事である。



【お祭りの見どころを教えて！】

地域では祭りを「神明様」と呼び、東西それぞれの神明宮前の浜に、大鉾を模した御神体を「お越したて」ることにより開始される。そして、「神明踊り」「長持じょうげ」等が奉納され、最後に御神体に火を点ける「はやし方」が行われ、祭りはクライマックスを迎える。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
阿月神明祭 お越したて 神明太鼓 長持じょうげ 神明踊り はやし方	2019年 2月11日（祝）	山口県柳井市阿月 ○東方（東神明宮前の浜） 8:00～19:20 ○西方（西神明宮前の浜） 8:30～20:20	柳井市生涯学習・スポーツ推進課(文化財担当) 0820-22-2111 (内線 332)

まりふ [麻里府地域納涼盆踊り]

【どんなお祭りなの？】

700年ほど前からの太鼓と音頭口説きによって踊る、昔ながらの「嵯峨音頭」を大切に守り続けている麻里府地域の盆踊りです。毎年8月14日に行われるこの盆踊りには麻里府の人口の7割以上が参加している地域をあげてのお祭りです。



音頭口説き



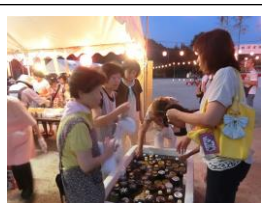
太鼓



【お祭りの見どころを教えて！】

大人も子供も一緒になって叩く太鼓や、老いも若きも輪になって踊る「盆踊り」は、午後8時からという時間帯もあって、屋台や提灯の明かりを受け、会場となるグラウンドでは体に響く太鼓や、音頭口説きと相俟って幻想的な情景を見ることができます。

地域の皆さんによる手づくり屋台も出て、子供花火大会や仮装大会と内容も充実したお祭りといえます。



屋台



子ども太鼓



屋台

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
麻里府地域 納涼盆踊り	8月14日 19時～	山口県熊毛郡田布施町 麻里府グラウンド (旧麻里府小学校グラウンド)	麻里府公民館 0820-55-5237

そ ね はちまんぐう
[曾根八幡宮秋まつり]

【どんなお祭りなの？】

曾根八幡宮秋まつりで、豊作への感謝、平穏無事を祈って神舞を奉納。

神殿と呼ばれる、神舞を奉納する場所（三間四方の囲い）で、5～6演目を、約2時間半に渡って奉納する。



【お祭りの見どころを教えて！】

- ・豊後神楽にルーツをもち、曾根地域の土地柄、風習を織り交ぜ、曾根独特の芸風に変様して継承している点。
- ・毎年、演目を変えて奉納している点。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
曾根八幡宮 秋まつり	10月第1日曜日	山口県熊毛郡平生町 曾根八幡宮	平生町教育委員会 社会教育課 0820-56-6083

山口県指定無形民俗文化財

いわいしま かんまいしんじ
〔祝島の神舞神事〕

【どんなお祭りなの？】

県指定無形民俗文化財の神舞は4年毎の大祭年の8月に仮神殿を設営し、伊美別宮社から二十余名の神職、里楽師を迎え、本島を斎場として神恩感謝の合同祭事を行う。



【お祭りの見どころを教えて！】

神舞では三隻の神船を中心に權伝馬船等、百余隻に及び大漁旗で飾った奉迎船が織りなす、勇壮な入船・出船の海上神事が行われ、古式豊かに三十三種類の神楽舞が新調の苫で小屋掛けされた仮神殿で奉納される。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
祝島神舞	2020年8月	山口県熊毛郡上関町祝島	上関町役場祝島支所 0820-66-2003

光市指定有形民俗文化財（山車と踊山）

はやおさはちまんぐう

【早長八幡宮秋まつり】

【どんなお祭りなの？】

今から約 350 年前から続く、
光市室積地区の伝統行事です。

「エンヤ！エンヤ！」の掛け声で、
若衆が郷土色豊かな「木遣り唄、
練り唄」を口説きながら山車と踊
山を曳き回します。

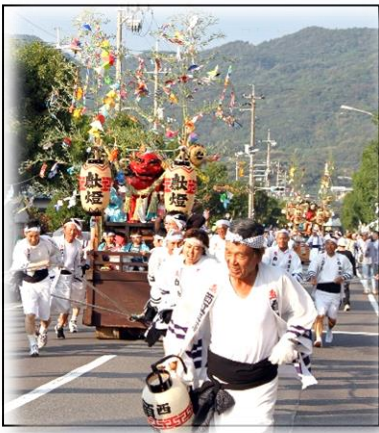
「エンヤ！エンヤ！」の掛け声
で若衆（わかいし）が山車と踊山
（おどりやま）を曳き廻します。



【お祭りの見どころを教えて！】

山車は^{だいは}台若・鳥居・石燈呂・高麗犬・随神山・御鏡山・
曳船の計 10 輦と踊山 1 輦が続き、行列全体が神社の形態
を整えているため「まちを駆ける神社」と形容されます。
この山車 10 輦と踊山 1 輦は、昭和 56 年に光市有形民俗
文化財に指定されました。

また、前日には幣祭り、宵山も執り行われみたらい湾花火
大会を開催します。



☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
幣祭り	10/11（金）	山口県光市室積 早長八幡宮	光市室積山車保存会 0833-78-0267
宵山	10/12（土）	早長八幡宮	光市室積山車保存会
みたらい湾 花火大会	10/12（土）	みたらい湾	光市観光協会 0833-48-8686
早長八幡宮 秋まつり	10/13（日）	早長八幡宮	光市室積山車保存会

いなほさい
[稲穂祭 きつねの嫁入り]

【どんなお祭りなの？】

稲穂祭は、下松市花岡で戦後に始まった下松を代表する奇祭です。毎年、11月3日に行われ、県内外から多くの観光客が訪れて賑わいます。

祭りの由来は、江戸時代に、法静寺住職の夢枕に出てきた白狐夫婦を人間同様に吊ったところ、失せものが見つかるようになったという伝説に基づいています。白狐夫婦はその後、『出世福德正一位稲荷大明神』と神号を賜わり、稲荷様として法静寺境内で祀られています。



【お祭りの見どころを教えて！】

祭りの見どころは、御神幸行列です。最初に地元の団体が、様々な趣向を凝らした神輿を担いで歩きます。その後、「稲荷音頭」に合わせて、老若男女が練り歩きます。そして最後にきつねの嫁入り行列が、はじまります。きつねの面をかぶり、人力車に乗った新郎新婦を先頭に、髪結いや腰元、新郎新婦の父母など親族が続きます。

白狐の夫婦を誰が演じるかは、毎年秘密とされているのが習わしで、不思議なことに新婦役になった娘さんは、良縁に恵まれるという言い伝えがあります。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
御神幸行列 開始	11月3日（祝） 14:00～	山口県下松市末武 法静寺周辺 （JR周防花岡駅近く）	法静寺 0833-43-4500

国指定重要無形民俗文化財

みつくりかぐら
[三作神楽 式年祭]

【どんなお祭りなの？】

三作神楽は、和田三作地区において7年目ごとの式年祭で地元河内社に奉納する神楽舞です。伝承では約1,300年前の飢饉と疫病の際、五穀豊穡と疫病退散のお礼に神楽を奉納したことが始まりとされています。平成12年国指定重要無形民俗文化財に指定されています。



【お祭りの見どころを教えてください！】

式年祭では神殿（かんどん）を設け、23の舞を奉納します。

中でも「三方荒神の舞」は祖霊の天下りを表現した舞であり、荒神3体が舞いながら神殿の上梁から垂らした3本の白布をより合わせて、1本の太綱にしたものを荒神1体ずつが登り、頂上近くで歌詞（うたぐら）をうたい、頭を下にして降りてきます。躍動感溢れる演技が見どころです。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
三作神楽 式年祭	2023年11月 (予定)	山口県周南市夏切 三作神楽伝承館前(予定)	周南市教育委員会 生涯学習課 (文化財保護担当) 0834-22-8677

防府市指定無形民俗文化財

わら こう
【笑い講（神事）】

【どんなお祭りなの？】

地域の農家 21 戸が集まり、収穫の感謝と来年の豊作を祈願した神事。

小俣八幡宮の社伝によると正治元年（1199 年）より始まったとされる。



【お祭りの見どころを教えて！】

講員 2 人が対座して榊を持ち、神主が太鼓を叩きはじめると、最初は今年の豊作への感謝、2 度目は来年の豊作を祈願、そして 3 度目は今年の苦しみや悲しみを忘れるため、計 3 度笑いあいます。うまく笑えないと何度でもやり直し、上手に笑うとたらいが連打されます。

イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
笑い講	12 月 第 1 日曜日	山口県防府市大道小俣地区	小俣八幡宮社務所 0835-32-0111

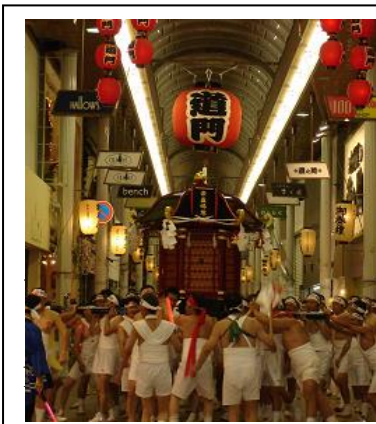
《山口県》

山口県指定無形民俗文化財（鷺の舞）

やまぐちぎ おんまつり [山口祇園祭]

【どんなお祭りなの？】

約 600 年続いている八坂神社の例祭で、毎年 7 月 20 日から 27 日にかけて開催されます。初日には「鷺の舞」が奉納され、祇園囃子や御神輿が御旅所へ練り歩きます。



【お祭りの見どころを教えて！】

お祭りで奉納される「鷺の舞」は昔から途絶えることなく続いている貴重なもので、県の無形民俗文化財に指定されています。短く簡素な舞で、古風を残していると言われていいます。八坂神社のほか数か所で舞われます。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
山口祇園祭 鷺の舞・浦安の舞奉納 祇園囃子 御神幸（ごじんこう）	7 月 20 日	山口県山口市上豎小路 八坂神社、大殿豎小路、商店街	八坂神社社務所 083-922-0083
市民総踊り	7 月 24 日	商店街	
御還幸（ごかんこう） 浦安の舞奉納	7 月 27 日	八坂神社、大殿豎小路、商店街	

※上記は 2018 年の内容です。

あ さ 厚狭秋祭り「古式行事」(大名行列)

【どんなお祭りなの？】

明治 30 年ころに厚狭天神祭の行事として始まったとされている大名行列です。

厚狭商店街の町筋をと独特の掛け声と踊りの所作をしながら、見物客に披露した後、厚狭天満宮の神前に奉納します。行列は、大行司(大人)・小行司(子ども)、馬に乗った大殿様(小行司は小殿様)が進みます。乙姫行列は、大行司の最後につき、姫かごに乗った姫様とかごの担ぎ手、上臈・腰元の形態になります。



【お祭りの見どころを教えて！】

「アーヨイセー。アーヨイヤサノサー。アーコレワイサノサー。」と独特の掛け声をかけ、みの箱、弓、片箱、袋傘、台傘、大熊毛・小熊毛などの道具を鮮やかに振りかざして行列していく姿は、毎年見物客に喜ばれています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
古式行事 (厚狭秋祭り)	11 月第 2 日曜日	山口県山陽小野田市 JR 厚狭駅(在来線口)から 厚狭商店街	山陽小野田市 教育委員会社会教育課 0836-82-1204

宇部市指定無形民俗文化財

おかだ や ももて
[岡田屋百手神事]

【どんなお祭りなの？】

村に祀られる松江八幡・八大龍王・大歳大明神に悪鬼退散の祈願をし、鬼に見立てた的に矢を射たところ疫病が治まったことから、感謝と厄除け・五穀豊穡を祈り、毎年3月第4日曜日に的射の神事が奉納されています。



【お祭りの見どころを教えて！】

小学生から高校生までの射手が悪鬼に見立てた的に弓矢で射ぬきます。

監的と呼ばれる小さな黒塗りの的に矢が当たると太鼓が打ち鳴らされます。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
岡田屋百手祭	毎年3月第4日曜日	山口県宇部市東須恵岡田屋 岡田屋公会堂	宇部市教育委員会 学びの森くすのき・地域文化交流課 0836-67-1277

山口県指定無形民俗文化財

いみのみやじんじゃ すほうてい
[忌宮神社の数方庭行事]

【どんなお祭りなの？】

忌宮神社で毎年8月7日～8月13日の間、毎夜行われる神事です。「鬼石」と呼ばれる平たい石の周囲を、男性は大小の竹の幟を抱え、女性は七夕飾りをつけた切籠を持って、太鼓と鉦の音に合わせて舞い回ります。山口県無形民俗文化財に指定されています。



【お祭りの見どころを教えて！】

幟は先端に鳥毛、鈴と小旗をつけた白い幟で、長さによって小幟・中幟・大幟と区分されています。

舞は鬼石の周囲を時計回りに3回回り、女性の切籠、男性の小・中幟、大幟の順で行われ、1日4回、7日間で計28回奉納されます。切籠の舞の列は美しく典雅で、また長さ20～30m、重さ100kgに近いものもある大幟を抱えてまわる幟舞は、勇壮な光景が展開され、圧巻です。山口県下でも類をみない奇祭の一つです。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
数方庭祭	8月7日～ 8月13日 19:00～21:30	山口県下関市長府宮の内町 忌宮神社境内	忌宮神社 083-245-1093

山口県指定無形民俗文化財（別府念仏踊 べっふねんぶつおどり）

いつくしまじんじゃ
〔厳島神社秋季例祭〕

【どんなお祭りなの？】

毎年9月初旬の厳島神社秋季例祭で奉納されるのが、山口県指定無形民俗文化財の別府念仏踊である。弁天池の水の恵みに感謝し、豊年を祈るものといわれている。



【お祭りの見どころを教えて！】

踊は腰輪楽、鶏頭楽、花楽の3つである。花楽は子踊りといい、現在は小・中学生らが境内で踊っている。



☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
厳島神社秋季例祭	9月初旬	山口県美祢市秋芳町別府	美祢市文化財保護課 0837-62-1921

山口県指定無形民俗文化財

すみよしじんじゃ ふなうた
【住吉神社「お船謡」】

【どんなお祭りなの？】

「お船謡」は、毛利氏の御座船唄として藩主が乗船する時や、新造船が進水する時、また年頭に御船倉で代官が乗り初めの行事を催す時に演唱されたのが始まりです。万治2年（1659）住吉神社が勧進されてからは、萩住吉祭に「お船」の上で演唱されました。

明治時代以降は、祭の行事のうち「お船」に関する諸事を浜崎の魚問屋が主催し、若主人たちが「お船謡」を演唱しました。

現在では、浜崎町内で引き受け、演唱者も選定し、「お船謡」を今日まで伝承しています。



お船の巡行：8月3日の午後から深夜まで巡行する。



神輿の巡行：8月2・3日に巡行する。

【お祭りの見どころを教えて！】

- ・「お船」の規模は長さ7.73m、幅2.15m、艫の高さ1.58m。杉材でできた船体の周囲には、波に竜をあしらった極彩色の絵を描いています。
- ・乗船する構成員は謡長1人、謡い手5人、地囃子3人、法螺貝4人、太鼓1人、三味線4人です。その他に「お船」の曳網を引く曳き子と、挺手扱い(梶取り)をする表師により、街内を巡行します。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
萩住吉祭 萩夏祭り お船謡演唱	8月1日～3日 8月3日	山口県萩市浜崎町 住吉神社ほか	・萩商工会議所： 0838-25-3333 ・住吉神社： 0838-22-0849

すがわらじんじゃ み こ まい
[菅原神社 巫女の舞]

【どんなお祭りなの？】

菅原神社の秋祭りでは、巫女の舞が毎年奉納されます。巫女を務めるのは、地域の小学1年生の女子4名。町内10箇所を巡り、山車の上での舞を披露する、天保年間から続く、伝統あるお祭りです。



【お祭りの見どころを教えて！】

祭り初日には、神事ならではの厳かな雰囲気漂う夜に、ライトアップされた山車の中で巫女さんが可憐な舞を披露します。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
菅原神社 秋祭り 巫女の舞	9月24日 25日	山口県阿武町奈古地域	阿武町教育委員会 08388-2-0501

山口県指定無形民俗文化財

あかさきじんじゃがくおどり
〔赤崎神社楽踊〕

【どんなお祭りなの？】

昭和43年4月5日県指定 無形民俗文化財指定 昭和47年8月5日国選択記録作成等の処置を講ずべき無形文化財選択

毎年9月の第2土曜日の次の日曜日、赤崎神社の例祭に、赤崎神社楽^{あかさきじんじゃがく}で奉納される踊り。慶長元年（1596）、北長門地方一帯に牛馬の疫病が大流行し、深川村でも380頭余りの牛馬が病死したので、牛馬の守護霊である赤崎神社に疫病が治まるように祈願した。その祈願成就の神の恩に感謝するために踊りを奉納したのが始まりである。昔は赤崎^{あかさき}の七^{しち}楽^{がく}（楽^{がく}踊^{おどり}五、南条踊一、地芝居一の総称）が奉納されていた。現在は「月の前の伶^{わい}楽^{がく}」と「虎の子渡し」の2つの楽踊と南条踊、式三番叟が奉納されている。



【お祭りの見どころを教えて！】

会場の赤崎神社楽^{あかさきじんじゃがく}は、赤崎神社のある赤崎山の中腹にあり、すり鉢状の地形を巧みに利用し、谷底の踊庭で奉納される楽踊・南条踊・芝居などの観覧席として、江戸時代より整備が始まり、明治期に完成した。楽^{あかさきじんじゃがく}は階段状の高楽^{たかく}と踊庭の平楽^{ひらく}がある。

昭和38年10月26日 国指定重要有形民俗文化財指定。

「楽^{あかさきじんじゃがく}」が国指定されている事例はここ「赤崎神社楽^{あかさきじんじゃがく}」のみであり、民俗学、演劇歴史、建築学などの学問的価値も高いとされており、楽踊とともにその文化的価値を堪能することができる。



☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
赤崎神社楽踊	9月第2土曜日の次の日曜日	山口県長門市東深川	飯山八幡宮 0837-22-2732
前夜祭	前夜	赤崎神社・飯山八幡宮	
楽踊	当日	赤崎神社楽 ^{あかさきじんじゃがく}	